

石関プレシ ジョン 株式会社



代表取締役
石関 誠二

群馬県
高崎市箕郷町矢原2177-1

2002年(平成14年)設立
027-371-5758

<http://www.i-precision.co.jp>

絞り精密部品
毎分1,500個以上量産

注目を浴びる環境・エネルギー分野で世界展開を進める「日本製品の切り札」
ニッケル水素蓄電池の精密プレス部品を生産。

多列高速絞りプレス加工技術

独創的な構造による金型設計、匠の技(μ代の精度)による金型製作及び、創意工夫によるプレス作業環境設定の融合により、高度なプレス技術である「絞り加工」、「順送多列取り金型(3列)」及び「高速加工(500spm)」を同時に実現し、電池の安全面において非常に重要な役割を担う高機能・高精度な絞り部品を「毎分1,500個以上量産」する超高度な「多列高速絞りプレス加工技術」を確立した。この技術は従来の技術と比較し、生産性を15倍に向上、材料歩留りを20%向上、金型のメンテナンス頻度を1/10に激減させている。



研究や開発がとどこおったら「精密プレスの仕事人」へ

商品の設計、計画、 部品加工に困ったら…

機能発注
設計担当者
「こんな機能が欲しいんだ!」

加工提案
金型職人
「こんな加工方法がありますよ! こんな形状にしてはいかがでしょうか?」

トリーミング パーリング コイニング カーリング 抜き 曲げ 絞り

日本のイノベーションの誕生

「設計段階からの部品開発はお任せ下さい。」あらゆるプレス加工技術を網羅し精密加工を知り尽くした金型職人による開発段階からの提案、機能発注への的確な対応が同社の最大の強み。図面に対する仕様発注はもちろん「こんな機能がほしい。」という要望に対し「こんな形状、加工ができますよ。」という提案により「LEDリフレクタ(反射板)のプレス絞りによる鏡面仕上げ技術の開発」、「金属セパレータの低コスト生産技術の開発」など、次世代分野の部品開発を金型からプレス加工、プレス周辺装置まで一貫で手がけている。

日本にもものづくりを残そう

長年培った職人技のプレス技術と、実験計画法(品質工学)の融合により、技術開発を続けている。

LEDリフレクタ プレス絞りで鏡面仕上げ 	金属セパレータ プレス加工で大量生産 	帯網から切削代替品 プレス革命→まだ削りますか? 	帯網からカム成形 鍛造→プレス
------------------------------------	----------------------------------	--	-------------------------------